

「奈良県幼児教育推進指針」

平成19年3月16日
奈良県
奈良県教育委員会

人は、親や周囲の人から愛されて育てられ、やがて成人し、子どもを育てる人として成熟していきます。また、人は、自分に自信をもち周囲の人々とともに生きていく心があってこそ、人として生きていくことができます。

乳幼児期は、自信をもって生きていくための心の土台を育てる大切な時期です。この時期の子どもをすこやかに育てるためには、親だけでなく子育てにかかわるすべての人々が、手を携えて協力し合うことが必要です。

本県では、「自分に自信をもち、周囲の人とともに生きる、心身ともにすこやかな子ども」の育成をめざし、次の事項に留意して幼児教育を推進します。

家庭では、喜んだり悩んだりしながら、子どもとともにゆっくりと親として成長していく営みを大切にすること

保育所・幼稚園では、子どもの心を受け止めるプロとして、親と一緒に子どもを育てていくこと

地域では、子育て中の親や保育・教育の場をあたたく見守り、支援すること

企業では、次世代育成支援のために、子育て中の親の働き方を見直し、その改善に努めること

行政では、子育ての大切さを認識する社会づくりに努めること